



工夫重ねて、オープン2カ月で会員数200名超 大阪・十三 マンションギャラリーの 小さなまちライブラリー

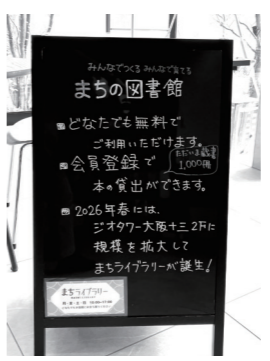


1018冊の蔵書をそろえて1月10日に「まちライブラリー@ジオタワー大阪十三マンションギャラリー」(大阪市淀川区)がオープンしました。その名の通り、マンションギャラリーの一角にあり、2026年春に誕生するまちライブラリーの本格オープンに向けた準備施設です。一般社団法人まちライブラリーが運営する施設としては小規模で、週4日、午前10時から午後5時まで、スタッフ2名が交代で運営している様子をお伝えします。(まちライブラリースタッフ・小野千佐子)

破し、3月20日現在で241名になりました。貸出冊数も200冊を超え「みんなの感想カード」にもコメントが増えてきています。さらに3月15日には、利用者さんが主催するイベント「手作り紙芝居：牛飼いの歌」を実施することができました。大人と子ども11名が「牛飼いの歌」を描いた紙芝居にじっくり見入り、中には思わず涙ぐむ方もいらっしゃいました。

利用者さん目線のスタッフ 自然な会話を意識

誕生したばかりのまちライブラリーを支えるスタッフの一人の梶野猛さんは、まちライブラリー@もりのみやキューズモール(大阪市中央区)の10年来の利用者さん。民間企業を退職後、スタッフの募集を知って仲間に加わってくれました。週に3日担当して「想像していた以上に楽しい!」と感じているそうで、「はじめは自分があればこれ企画しようと思っていたけれど、今は利用者さんが自由に活動できる場をつくるのがサポートだと思うようになりました」と話しています。梶野さんは、利用者さんに名前呼びかけ、返却された本の感想をさりげなく聞くなど、自然な会話が生まれる場所になってきています。またSNSでは、本やイベントの情報だけでなく地域の話も交えながら、大阪・十三の日常に根づくまちライブラリーの様子を伝えていきます。少しずつ、人と人がとがであい、つながる場へ。これからが楽しみです!



手書きの看板 通行人の関心集める

当初は人通りが少ないこともあり、訪れるのはスタッフの知人ばかりで、通りすがりの人が立ち止まることはありませんでした。そこで、手書きの看板を置くことで足を止める方が増え、一人ひとりに説明するうちに「ちょっと覗いてみようかな」と入ってくれる人が増えていきました。「公立図書館が少し不便だから、こういう場所があると助かる」と親子で利用くださる方や、「最近引っ越してきて、近所のことを知りたくて」と毎週末利用してくれる方も現れてきました。

徒歩5分ほどの場所には、以前からまちライブラリーに登録している「みんなの図書館さいくる」があり、ご挨拶に伺ったところ、お仲間をどんどんご紹介くださいました。開館1カ月後には、会員数が100名を突

New! まちライブラリーの紹介

NO. 1191 (千葉県 流山市)
まちライブラリー流れのほとり
私たちは流れのほとりに植えられた木のように、地域に根ざし健康に成長することを願う教会です。日曜日は賛美の音が響く礼拝の場として、平日は心温まる図書館として開放しています。
• Instagram: machi.nagarenohotori
• オーナー: 羅大路

NO. 1195 (茨城県 水戸市)
Hakamatsuka Book Club
人文・社会学系私設図書館です。歴史学、政治学、思想史、文学、美術、映画などの書籍・雑誌を無料で貸出しています。読書室、談話室としてもご利用いただけます。
• オーナー: 小室明久

NO. 1197 (千葉県 市原市)
まちライブラリー@もぐたんブックス
市原市青柳にある“食を通してヒトとヒトが繋がる場”がコンセプトの「おやこ食堂もぐもぐ」店内にあります。子どもからシニアまで、老若男女問わず集える居場所です。本を手にとりに、ふらりと訪れてみてください。
• Instagram: mogmog.oyako
• オーナー: NPO法人もぐらの冒険

NO. 1200 (大阪府 大阪市北区)
漂流! SF漫画まちライブラリー
SF漫画のライブラリーです。定位置がなく、漂着地でSF漫画を元に交流場所を開けます。読書会やビブリオバトルなどのイベントも行います。
• オーナー: ノリアキラ

NO. 1203 (島根県 大田市)
まちライブラリーカフェpukapuka
温泉と神楽の町に惚れ込んだオーナーが、まちライブラリーカフェをオープン。絵本や漫画から、小説、地域の歴史・祭り・芸能に関するの本など、蔵書は1000冊以上。昔からあったかのような、懐かしまれるお店にしたい。
• Instagram: pukapuka_yunotsu
• オーナー: 森口真菜

NO. 1204 (奈良県 明日香村)
森の図書室
森のある暮らしを日常にするための実験室(ラボ)内に作った森の図書室。建物内に水路がある不思議な空間で読書することができます。
• Instagram: morilabo2017
• オーナー: 久住一友

NO. 1206 (山形県 鶴岡市)
まちライブラリーはれくも
不定期に1日だけ開催するイベント型のまちライブラリーです。主に鶴岡銀座商店街のトキワ屋さんを会場に開催します。
• WEB: https://note.com/harekumo_yika/
• オーナー: はれくもいからし

NO. 1210 (富山県 南砺市)
まちライブラリー福野
繊維業を営んでいた大きな空き家を再生して街の賑わいづくりに挑戦中の施設内にあります。まだ、施設が不定期に営業中のため、お越しの際は、下記のFacebookより連絡をお願いいたします。
• facebook: daithi.yosida.5
• オーナー: 吉川圭太

NO. 1211 (岐阜県 岐阜市)
カバン屋さんの本棚
カバン工房スーデザインズが運営するまちライブラリーです。工房に併設された「スコーヒー&スナックス」の一角にあり、コーヒーを片手に、昔懐かしい駄菓子を楽しみながら、本を読むことができます。
• Instagram: su_coffee_and_snacks
• オーナー: 鈴木亮祐

NO. 1212 (長野県 池田町)
子供図書館
北アルプス北部の後立山連峰の見えるまち、池田町にある、子どものための図書館。書籍、絵本、漫画、アップルコンピュータ、パズルなどを自由に使っていただけます。自分のタブレットを持ち込んで使えます。
• facebook: kodomotoshokan
• オーナー: 秋本恭仁子

NO. 1213 (北海道 札幌市)
a little space
英語・日本語の絵本・児童書約300冊を揃えて、コミュニティハウスの一室を図書室として週に2日開放。開放日には図書館主宰が常駐していますので蔵書のご案内や、日英二か国語の読み聞かせもいつでもできます。
• facebook: a little space library
• オーナー: 筒井マーティン多愛

NO. 1214 (大分県 大分市)
カフェプロビデンス
以前住んだアメリカ北東部の街プロビデンスが忘れられずにカフェを開業しました。司馬遼太郎の「街道を行く」が大好きな店主が営んでいます。おいしいコーヒーを飲みながら、一緒に「街道を行く」の話をしませんか。
• facebook: providennce.oita
• オーナー: 瑞木康孝

NO. 1215 (大阪府 大阪市都島区)
かたりすとサロン
好きな本を通じて、あなたのライフキャリアを考えてみませんか。自分史の中で気になった絵本や本を中心に、一度、語り合う場所。国家資格キャリアコンサルタントのオーナーに、あなたへオススメの本をご紹介させていただきます。
• facebook: OfficeCatalyst.JP
• オーナー: Office Catalyst 角野裕美

NO. 1218 (岡山県 倉敷市)
ときわ木図書館
ときわ木図書館は、いつでもだれでも迎えてくれます。心の拠り所となる図書室です。どんなふう運営していくのか決まっていませんので、よければ一緒につくっていきましょう。楽しみながらご利用ください。
• オーナー: 尾崎勝也

NO. 1220 (北海道 札幌市)
HIS Community Library
この春に正式オープン。主に英語の本を所蔵していますが、日本語、韓国語、スペイン語などの他の言語の本も共有したいと考えています。一緒に新しい文化や言語について読んで学びましょう!
• WEB: <https://www.his.ac.jp/>
• オーナー: 北海道インターナショナルスクール

NO. 1221 (兵庫県 西宮市)
きむら内科・内視鏡クリニック待合ライブラリー
クリニック待合に設置された小さな図書館です。診察券をお作り頂いた方なら、診察の有無に関わらずご利用可能です。蔵書は徐々に増やしていく予定ですが、皆様からのリクエストも受付しています。
• WEB: <https://kimura-naishikyo.com/>
• オーナー: 木村佳人

NO. 1222 (大阪府 八尾市)
まちライブラリー@桂人権コミセン
みんなが好きな本を持ち寄り、感想を伝え合うことで、人と人との気持ちをつなげます。ぜひ、皆さんもお勧めしたい本があれば、桂人権コミュニティセンターの図書室にお持ちください。
• WEB: https://www.city.yao.osaka.jp/machidukuri_jinken_kankyou/jinken_heiwa_danjokuyoudou/1014647/1010622/1010623/1016785.html
• オーナー: 八尾市立桂人権コミュニティセンター

NO. 1223 (大阪府 大東市)
カフェやすらぎハウスくまさん家
哲学、歴史(古代史など)、囲碁将棋、推理小説、SF小説、マンガなどが約1000冊!小中学生は無料、大人もコーヒー1杯で1日粘ってもOK!
• facebook: kazunobu.kumano
• オーナー: 熊野和伸

まちライブラリー ホットニュース

HOT NEWS

まちライブラリーが「シチズン・オブ・ザ・イヤー」を受賞

まちライブラリーが、日本PR協会主催の2024年度日本PR大賞「シチズン・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました。この賞は、パブリックリレーションズの普及・浸透に貢献した人と組織を表彰する制度で、今回「パーソン・オブ・ザ・イヤー」ではプロ車椅子テニス選手の小田凱人さんが受賞されています。

まちライブラリーの受賞理由について、「『本』を中心に緩やかに人と人が繋がる自然体のコミュニティで、地域の結束を強める役割を果たしている。誰でもオーナーとして始めることができるため設置者は個人が6割を占め、現在は全国1200か所以上に広がっている。PRの観点で優れた取り組みである」という評価をいただきました。表彰式には東

京近郊のまちライブラリーオーナーも参加。磯井さんは「2011年に私自身の個人的な居場所づくりとして始めた活動が、多くの方に広がっていることに目を向けていただけたことを大変嬉しく思います。現代社会のなかで、息苦しく感じている方がひとりでも元気になって、ちょっとでもいい社会になれば活動を始めた甲斐があるなと思います」と挨拶しました。(まちライブラリースタッフ・山本淳子)



本から生まれた奇跡の出会い

■ 登山家の遺稿集 寄贈本からつながる人と人

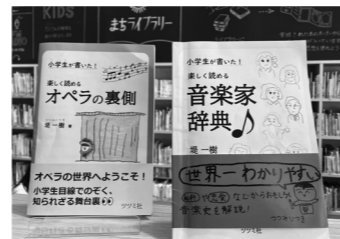
若くして亡くなった、ある登山家の遺稿集が3月にまちライブラリー@MUFU PARK (東京都西東京市) に1冊寄贈されました。寄贈した従姉妹からスタッフが生前の思い出を館内で聞いていたところ、「私もその本持っています!」と一人の女性に声をかけられました。「実は彼と同級生で、お付き合いをしていました」と。たまたま近くの席で本を読んでいた女性は、ふと耳に入ってきた懐かしい名前に想いがあふれて、声をかけずにはいられなかったようです。いくつもの偶然が重なって生まれた奇跡の出会い。その場に居合わせた皆でその本を囲み、暫く話をしました。後日、従姉妹と女性のお二人で、その登山家のご両親に会いに行くことになったそうです。1冊の本をご縁に、素敵な現場に立ち会えました。(まちライブラリー@MUFU PARKスタッフ 岩田瑠美子)

■ 小学生が書いた寄贈本 執念の検索の結果は……?

当時小学5年生だった堤一樹さんは、まちライブラリー@もりのみやキューズモール (大阪市中央区) に寄贈することを目標に『小学生が書

いた!楽しく読める 音楽家辞典♪』を書き上げました。大好きなクラシック音楽を広めようと、有名作曲家15人のユニークな人間性に着目して55ページにまとめました。さらに6年生の夏には『オペラの裏側』も発行。その堤さんが「天才作曲家・裏の顔博士ちゃん」として3月にテレビ番組に出演しました。

放送後1週間ほどして、番組を見たという神奈川県在住の80代の女性から「あちこち執念で探しています。紹介された本はありますか?」と電話をいただきました。本は原則として会員への貸出制ですが、昨秋のイベントで堤さんからその本を購入した会員さんにご相談したところ、「大事にしてくれるのならプレゼントしてもいい」と申し出てくださいました。本だからこそ持つ力と、会員さんのあたたかいお気持ちが心に沁みました。(まちライブラリースタッフ・小野千佐子)



磯井純充著『「まちライブラリー」の研究』を元に、「個」が生きやすい社会変革への鍵を探究するゼミを4月から開始。全6回のうち5回はオンラインで、最終回の9月は、全国各地の参加者14名が大阪にリアルに集まり、「個」の力が熱く溢れるまちライブラリー発祥の地で学びを深めます。(まちライブラリースタッフ・川原紗英子)

大阪万博より面白い?!

まちライブラリーゼミ第2期

ミクロな視点を大切に 変化し続ける「遊び」の場

福 岡県に住む中学2年生の作文を拝読し、お手紙を出す機会がありました。きっかけは、「立志作文」という勉強会を指導しているライターさんからのご依頼でした。その中学生の夢は書店員になり、人々に本の楽しさや新しい知識を伝えることでした。素晴らしい夢であり、また、まちライブラリーの理念にも通じる部分があることから、このような機会をいただいたのだと思います。そこで私は、本だけでなく、思いを伝えたいと願う人々にも目を向けてほしいと中学生に伝えました。

まちライブラリーの歩みを振り返ると、それは本を通じて人々に愛着を持つ過程の連続でした。自身の障碍を乗り越えるため、子どもの不登校を改善するため、人と仲良くなるため—それぞれの目的を持ち、本の向こう側にいる人たちに寄り添おうとする人々が存在しました。社会改革や地域活性化といった大きな目標よりも、自らの課題解決や夢を叶えようとする人たちが、まちライブラリーを活路にしていたのです。

世界は価値観の大きな変動期にあり、生成AIの登場により社会も急速に変化しています。この不透明な時代だからこそ、私は多様な本を手に取り、思索の時間を増やしています。人類とは何か、歴史の流れはどこに向かうのかといった大きなテーマから、AI時代にどう対応していくかという実践的なスキルまで、さまざまな本を読みます。しかし、その先にあるのは結局、自らの生き方や価値観の再確認です。こうしたマクロな視点からのアプローチを続けるうちに、まちライブラリーの原点である「ミクロからの解決」に行き着き、友成真一氏(早稲田大学大学院教授:2025年3月退官予定)の『問題はタコつぼではなくタコだった』の考え方を再び思い起こします。

まちライブラリーは各地に広がり、企業や行政が主導するものも増えてきました。その結果、地域活性化や交流支援といった社会課題の解決を目的とする場面も増えてきました。これらの取り組みに関わることで、私自身も学びと実践を重ねられることはありがたいことです。しかし、マクロな目標に目を向けすぎること、身近な課題を抱える人々の想いを受け取れなくなるのではないかという危機感もあります。だからこそ、私は友成氏の「ミクロ思考哲学」を折に触れて反芻するのです。

4月から開始予定のまちライブラリーゼミでは、この問題にも焦点を当て、参加者の皆さんとともに改めて学び直していきたいと考えています。冒頭で紹介した中学生の夢には、自らの人生観があり、そのための道筋を見つけようとするミクロな視点がたくさんあります。しかし、大人になるとミクロな視点よりも、社会や業界をマクロに捉え、それをどう変えようかという発想が強くなります。とはいえ、マクロな課題を解決した

からといって、自らの夢を実現できるとは限りません。むしろ、夢から遠ざかることも少なくないのです。

友成氏は、まちライブラリーの初期の頃、私にこう繰り返し話されました。「まちライブラリーは、磯井さんの遊びだからね」。この言葉には、遊びの延長線上に仕事や社会活動を置こうとすると、結果としてマクロな視点に引っ張られ、ミクロな視点を失ってしまう危険性への警鐘が込められていたのだと思います。今振り返ると、とても含蓄のあるアドバイスでした。

『言葉を使う動物たち』の著者エヴァ・メイヤーは、カナダの哲学者マックスが「遊びは本質的に創造的である」と述べたことに触れ、動物は遊びを通じて学習し、その方法は多様に変化し続けるとしています。今こそ、まちライブラリーに関わる人々が、心から楽しめる「遊び」としての場を大切に作る時期なのかもしれません。本と人との出会いが、純粋な喜びとともに、多様な変革や新たな方法を受け入れながら、長く続いていくことを願っています。

2025年3月
まちライブラリー提唱者 磯井純充

今回は、私の積読本を紹介します。

- ・『ホップズリヴァイアサン シリーズ世界の思想』 梅田百合香
- ・『ヒルビリー・エレジー〜アメリカの繁栄から取り残された白人たち〜』 J・D・ヴァンス
- ・『西洋の敗北 日本と世界に何が起きるのか』 エマニュエル・トッド
- ・『生成AI・30の論点 2025-2026』 城田真琴
- ・『えほんのせかい こどものせかい』 松岡享子
- ・『図書館を建てる、図書館で暮らす:本のための家づくり』 橋本麻里、山本貴光
- ・『ハチは心をもっている—1匹が秘める驚異の知性、そして意識』 ラース・チットカ
- ・『心は存在しない 不合理な「脳」の正体を科学でひもとく』 毛内拡
- ・『暇と退屈の倫理学』 國分功一郎
- ・『この一冊で全部わかる ChatGPT & Copilotの教科書』 中島大介(著)、西宏章(監修)
- ・『自主経営組織のはじめ方—現場で決めるチームをつくる』 アストリッド・フェルメール、ベン・ウェンディング
- ・『ティール組織—マネジメントの常識を覆す次世代型組織の出現』 フレデリック・ラルー
- ・『武器としての「資本論」』 白井聡
- ・『資本主義リアリズム』 マーク・フィッシャー
- ・『日ソ戦争-帝国日本最後の戦い』 麻田雅文
- ・『日本人のリテラシー:1600-1900年』 リチャード・ドリンジャー



まちライブラリーに関する情報はこちらから
<https://machi-library.org/>

まちライブラリー通信 vol. 35 / 2025春号
発行:一般社団法人まちライブラリー
住所:〒540-0037 大阪府大阪市中央区内平野町2-1-2 アイエスビル3階